

氏名	森際 眞知子
よみ	もりぎわ まちこ
英字	MORIGIWA, Machiko
プロフィール	英文学専攻を経て西洋史(古代エジプト史)専攻へ。オクスフォード大学グリフィス研究所に留学(84-86)、J・ペインズ教授(エジプト学)に師事。帰国後古代エジプト研究を進める傍らその方法論を応用し、ハワイを中心に多文化共生に成功している地域を研究。中部圏の大学で英語、文明論を講義するなか、90年ハワイで1年近くにわたる現地調査を行う。93年、愛知みずほ大学助教授、2000年、同教授、2018年、同特任教授。
職位	特任教授
最終学歴	早稲田大学文学研究科(西洋史専修) 博士課程(単位取得満期退学)
学位	修士(文学)
所属学会・役職	日本オリエント学会、エジプト調査協会(Egypt Exploration Society)、日本西洋史学会
専門分野	古代エジプト史、共生文化論
研究テーマ	1. アマルナ時代の外交史 2. 古代エジプト第18王朝の正統性構造 3. 共生文化社会 4. 文化の正統性闘争としての民族問題と都市生活
主な教育・研究及び社会的活動及び業績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「アマルナ時代末期におけるエジプトのシリア領土喪失の原因」 『史観』 105, 49-61, 1981.</li> <li>2. 「第一八王朝の正統性とトトメス三世のアジア遠征」 『西洋史論叢』 18, 1-14, 1996 .</li> <li>3. 「アクエンアテン統治論再考」 『古代エジプトの歴史と社会』 (共著), 同成社 , 2003.</li> <li>4. 「アメンヘテプ3世の統治における宗教の意義」 『西洋史論叢』 25, 13-22, 2003.</li> <li>5. 『古代オリエント事典』 (共著) (岩波書店 , 2004)</li> <li>6. 「アクエンアテンの都一王都アケトアテンに見るその政治と神学一」 『瀬木学園紀要』 1 , 35-45, 2007 .</li> <li>7. 『フォーブス 古代の技術史・下巻・I』 (共訳), 朝倉書店 , 2008 .</li> <li>8. 『フォーブス 古代の技術史・下巻・II』 (共訳), 朝倉書店 , 2011 .</li> <li>9. 『古代のオリエントと地中海世界』 (共著) , 岩波書店 , 2012 .</li> <li>10. 「第18王朝の正統性戦略」 『古代エジプト研究1』 53-63, 2016.</li> </ol>